

丹波縄文の森塾 活動報告



令和7年2月15日（土） 晴

シイタケ駒打ち



最初の活動は、シイタケの駒打ち。前回、ノコギリで1mほどに切ったクヌギの木（ホダ木）に、シイタケの菌糸を打ち込む作業（駒打ち）をしました。ドリルを使って30か所ほど一定間隔に穴をあけ、そこにシイタケの種駒を金槌で打ち込んでいきました。電気ドリルでの穴あけは、思っていたより簡単で、穴をあけるたびにどんどん楽しくなっていました。シイタケが生えるには2年ほどかかるそうです。きょう植え付けたシイタケ、早く食べてみたいです。

記念植樹



駒打ちに続いて、記念植樹。シイタケ栽培用に伐採したクヌギの木を補うため、裏山にクヌギの苗木を5本植樹しました。ツルハシとスコップで穴をあけましたが、木の根や石などがあってなかなか苦労しました。バケツの大きさほどに穴があいたところに苗木を入れ、土を被せました。近くの小川から汲んできた水をやり、動物に食べられないように保護カバーをして完成。最後にみんなで記念撮影をしました。いつの日か大きくなったクヌギの木を見るのが楽しみです。



昼休み



昼食は、カレーライスとゼリー。とってもおいしくて、あっという間に完食でした。昼食後は、芝生広場でサッカーやドッジボールを楽しみました。

幼虫探し（オムラサキ）



午後は、オムラサキの幼虫探し。エノキの根元で越冬している幼虫。葉っぱを一枚一枚丁寧に裏返しながらかきました。みんなで61頭の幼虫を見つけることができました。（昆虫は「頭（とう）」を使うのが正式）

帰る前、先輩たちが駒打ちしていたシイタケが生えていたのでいただきました。



きょうも楽しく活動できました。次回は3月15日、いよいよ最後の活動日になります。みんなで楽しみたいです。